

「未来高岡」ステップアップトーク（平米地区）会議記録 ＜要旨＞

1、日 時 平成 28 年 8 月 24 日（水） 午後 7 時 30 分から 8 時 30 分

2、場 所 平米公民館

3、出席者 市民 52 名（うち女性 12 名）

高岡市

市長、経営企画部長、広報統計課長

4、会議次第

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

.....

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

参加者

- ・富山銀行の本店が建っている土地と高岡駅前ビル跡地の市有地の一部を交換するとのことだが、富山銀行本店が建っている土地を市で取得した後の土地の活用方法について教えてほしい。

市長

- ・市で活用する予定ではあるが、具体的な活用方法については決まっていない。赤レンガの建物は歴史的な建物であり、いろいろな人に利用してもらえるよう活用していきたい。同じ敷地内にある別棟の建物については、解体後に市が譲り受け、更地の状態で活用することを想定している。

参加者

- ・富山第一銀行の本店が入る富山市の「TOYAMA キラリ」は、施設内に図書館等も入る複合施設となっている。富山銀行本店の建設予定地となる高岡駅前ビル跡地は、市内の一等地であることから、銀行を建設するだけでなく、複合施設の建設等も考慮に入れながら高岡駅前地区の開発拠点の一つとして位置づけてほしい。

市長

- ・複合施設内に銀行を移転するとなるとセキュリティの問題も出てくる。駅前開発については、基本的には民間主導による開発をイメージしており、市が誘導するような形をとっていきたい。また、駅前については、親しみがあり、いろいろな人々が集まるようなスペースとしたい。

参加者

- ・富山銀行本店敷地内にある赤レンガとは別棟の建物は、1 階が駐車場となっているが、建物内には冷暖房があり公民館として十分活用できると思う。その建物に公民館としての機能を盛り込めないか。

市長

- ・ご意見のあった建物については、更地とした後に、新しくおしゃれなカフェ等ができればいいと思うが、有効利用するため地元と相談していきたい。

参加者

- ・総合計画におけるまちづくりの手法として「共創、再発見、発信」とあるが、歴史文化の再発見をしてまちづくりに活かすという観点でいうと、昭和 6 年に上水道が完成した時に造られた清水町水道公園内の旧配水塔や、その当時建設され、高岡市の近代化のシンボルだった昭和通りや高伏道路がある。これらを活用することを提案していきたいし、高岡市の歴史文化の新しいテーマとなるのではないかな。
- ・現在、昭和通りが無電柱化しているが、だんだん緑がなくなっているのでも緑化してほしい。

市長

- ・現在、昭和通りの無電柱化を進めているが、利便性の高い道路にしたいと思っている。新高岡駅や高岡駅、末広町や山町筋、金屋町という一つの線で真っ直ぐに並ぶ場所を、交通軸としてしっかりつなぎ合わせていきたい。

参加者

- ・セルロースナノファイバー¹という新素材が注目されているが、高岡市はパルプ、製紙業が盛んなので検討してほしい。セルロースナノファイバーは軽くて鋼鉄の 5 倍の強度があるため、樹脂に混ぜればいろいろなものに活用できるのではないかな。また、生産にかかる費用も近い将来かなり削減できるものと聞いており、このような素材を活用し、市が中心となって企業と連携しながら産業化してはどうか。

市長

- ・高岡市でも研究が進んでいると聞いており情報交換をしていきたい。

¹ 幅 15 ナノメートル（1 ナノメートルは 100 万分の 1 ミリ）程度まで細くした木のセルロース繊維。

参加者

- ・高岡市に関係があるもので、世界中にも知られ人気があるのはドラえもんである。会話のできるドラえもんロボットを作ってはどうか。ある企業では、人の感情を読み取り会話できるロボットを開発して一般向けにも販売しており、銀行や小売店等でも利用されているとのことである。また、県内他市でもロボット生産を考えている企業があることから、高岡市でもロボット産業について考えていくべきではないか。

市長

- ・ロボット産業については、将来有望な産業だと思うので行政も一緒に取り組んでいきたい。活用方法としては、ドローンでの情報収集や福祉の分野でも活用されていると聞いており、エンターテインメントの観点も含め今後の可能性を探っていきたい。

参加者

- ・平米地区にある元町は、来年度の旧町名復活を予定している。
- ・市中心部の 35 町は、歴史があり建物が大変古いため、大型の地震が起きた際には建物や電柱が倒壊する恐れがあり、耐震診断をより一層推進してほしい。また、定塚小学校や平米小学校、川原小学校や西条小学校の周辺には木造の歴史ある建物が多いので、小学校への避難路を確保するため、周辺建物が倒壊しないよう建物の耐震補強診断や改修に対する補助をお願いしたい。

市長

- ・国や県でも無電柱化を進めているが、災害時における電柱の倒壊を防ぐという防災の観点も含め、良好な景観を維持できるよう今後も無電柱化を推進していきたい。また、防災に関して避難をスムーズにできるよう調査しており、老朽家屋の対策についても計画している。

参加者

- ・平米地区は高齢化が進んでいることから、高齢者と子どもが一緒に過ごせるようなサービス施設を設置してほしい。

市長

- ・子どもと高齢者が一緒に過ごすことは良いことであり、今後調査していきたい。

参加者

- ・市内には、富山大学芸術文化学部やいくつかの高校があるが、学部を増やす等して、高岡市に住む若者を増やしてほしい。市内に住む学生が増えれば、将来的に高岡市の企業

に就職し定住してもらえるのではないかと。

市長

- ・ 来年完工予定である新しい看護専門学校の定員を拡充した。多くの看護学生に通ってもらい、他市から来た学生に、そのまま高岡に住んでもらえるよう奨学金の返還額を一部免除することなども考えている。